



広げよう たすけあいの輪

どりーまあ通信

● 第18号 2006年 4月発行 ●

◆特定非営利活動法人◆
どりーまあサービス

〒770-0855
徳島市新蔵町1丁目95番地フジビル5階
TEL 088-626-3237
FAX 088-611-7035
E-mail : dramer@nmt.ne.jp
発行責任者 山口 浩志

鉄心肝



理事長 山口 浩志

いよいよ十八年度の幕明けです。日本の福祉はこれから新しい坂道を登ろうとしております。まずはその坂道を登りきる覚悟が必要な時です。坂道があるからといって後ろを振り向いたり立ち止まってみても状況は変わりません。また、左のふもとに回ってみたり右の方へふらふらと探したところで、目的地には到達できないでしょう。多少の坂道はあるけども、そこを登りきれば非常に眺望（ちようぼう）のよい世界が眺められることを信じています。

昭和初期に『金解禁』政策を時の総理大臣、浜口雄幸氏と命を懸けて推し進めてきた井上準之助氏は、当時自室に『鉄心肝』と書かれた額を掲げていたそうです。すなわち、心肝を鉄にして生き抜こう、という構成です。

昭和三十八年から始まった老人福祉法のもとでのいわゆる措置福祉、平成十二年からスタートした公的介護保険法、そして平成十四年からの障害者支援費制度と、日本の福祉は良かれ悪しかれ変化を遂げてきました。今後も福祉は経済抜きには進められないでしょうが、冒頭の言葉のように『鉄心肝』の信念をもち、私たちは在宅で暮らす市民とこれからの新しい坂道を共に手をとり助け合いながら、そして『夢』をあきらめることなく歩んでいくことをお約束いたします。今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

地域と共に。日本赤十字社の活動



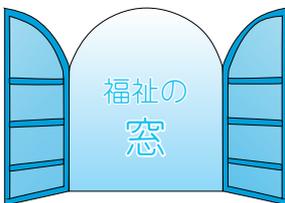
事務局長・鎌田 啓三



日本赤十字社徳島県支部

地震や、豪雨などの災害現場で、住民の救援・救護活動に取り組む「赤十字」のマークを背に付けた人々を、皆さんは、テレビなどで見たことがあると思います。

日本赤十字社は、国の内外を問わず、「人道」を基本精神として、さまざまな災厄から、人の生命を守り、かつその安心を確保するために、日頃から活動を続けています。



赤十字では、災害時などの救援・救護活動

のほか、救急法などの普及活動、地域での防災活動への支援、各種ボランティアの養成・研修、児童・生徒が主体の青少年赤十字活動、「人道」を基本原則とする赤十字思想の普及啓発等、幅広く活動を実施しています。

これらの活動は、赤十字社費・寄付金とその原資になってお

り、いくなれば、赤十字活動は、地域の皆さんによって支えられ、地域の皆さんの生命を守ることが活動の目標でもあるわけです。

地域の繋がりが希薄化して久しいと言われますが、近年、改めて地域社会の重要性が見直されてきています。地域には沢山の有用な人的資源があり、これらの資源を、点から線、そして面へと繋いでいくことにより、地域の力がより強くなります。アメリカのある経済学者は、「地域」におけるさまざまな資源をソーシャル・キャピタル（社会資本）と呼び、経済や、生活環境への一定の効果すら認めているほどです。

赤十字は今後も、地域の再生や地域の力をより強くするために、地域と共に活動を進めていきたいと考えています。

みんなの広場

二月よりサービス提供責任者として「どりーまあ」の仲間入りされました。これまででは病院で介護の仕事に携わっていましたが、ご本人は「自分はやっぱり在宅で汗を流す方が好きなんですすねえ。今は仕事が好きやりがいを感じながらも無我夢中で頑張ってます。」との事です。彼女の人が在宅で花が咲

ヘルパーとして勤め初めてから一ヶ月くらいのフレッシュな新人です。彼女がヘルパーになろうと思っ

たきっかけはご自身のお父さまを介護されてきた経験からだそうです。しかし、理想と現実の格差に少々戸惑いも隠せませんが、それでもいろいろな現場で

変わりゆく制度

「自分自身の親と思ってかかわりたいです！」

ホームヘルパー
藤島 泰江



違った形のケアのあり方を只今特訓中です。今後の活躍に期待がもてます。

「在宅で汗を流すことに喜びを感じます(笑)」

サービス提供責任者
有月 直美



くよう応援していきたいと思えます。お目にかかった時には皆様ヨロシク!!

ありのままの自分

中でも将

ホームヘルパー
熊橋 五月



来をしつかりと見据え着実に力をつけているようです。

看護と介護の両輪

以前から訪問看護分野には強い思い入れのある高橋さんですが、「どりーまあ」

訪問看護師
高橋 憲恵

ですが、きっかけは将来ご両親を自分の力で支えていき

「どりーまあ」として介護と看護との二人三脚でケアにあたっている在宅現場をご紹介させていただきます。こちらでは、入浴やりハビリそして時には外出援

助といったかわりを見せていただきありがとうございます、ご家族に休息していただくひとときを見守りさせていただいている濱龍二さんです。
(通称龍くん)

に入ってからこれまで看護師としては経験できなかったケアに関わることがたくさんあり、ますますパワーアップしてきております。一方、ヘルパーとしての仕事を始めたばかりの高橋さんですが、きっかけは将来ご両親を自分の力で支えていき

どりーまあ 訪問看護 ステーション

一昨
年前の
冬のこ
とでした。
私は思わ
ぬ怪我
をして少
しばかり

入院生活を経験し
ました。身体の痛みや
思うように動けない苦
痛は、いくら医学が進歩し
最新の医療機器が整ってい

所長
蔵本 佳代

でもさけられないもので
す。家族が入院すると家庭
は混乱し日常生活も脅か
されていきます。一日も早
く我が家に帰りたいと願う
ものだというのを
身をもって経験いた
しました。そして患
者さんの苦痛を少し
でも和らげ、ご家族
の不安や介護の負担
を少なくすることが看護の
役割だということを痛感し

利用者様の「笑顔」が

私たちの願いです。

ております。

在宅療養が推進される一
方で、ご家族や患者さんの
「笑顔」が消えていかない
ようにすることが私たちの
目標です。訪問看護という
仕事は専門的な知識や技術
はもちろん必要です。我が
どりーまあ訪問看護ステー
ションのスタッフはとびき
りの美人ぞろいというわ
けではありませんが、最高
の笑顔と癒しをお届けでき



どりーまあ訪問看護ステーション
スタッフのみなさん

るよう、より人間性を高め
ていきたいと思っていま
す。皆様、今後ともよろし
くお願い致します。

ケアプラン作成事業所 どりーまあ徳島

「どりーまあ」に二人
の新しいケアマネー
ジャーさんが仲間入り
しました。紙面を通し
てお二人をご紹介します
ていただきます。



(左)湊川 (右)山野

二月より「どりーまあ」
でケアマネージャーとして
仲間入りしました山野で
す。今年は介護保険制度が
始まって五年目
で、大きな改革の
年です。ようやく
介護に対して社会
的な認識が定着し
つつあることを感
じております。とはいっ
ても私自身はまだまだ修行の
身ではありますので、これ

ケアマネージャー
山野亜紀子

からも新しい制度やサービ
スについて学習し、他職種
や他事業所との連携をとら
せていただきたいと思います
です。そして、
ご利用者様やご家
族の方々からのご
質問やニーズに対
して誠実にそして
正確にお応えでき
るよう努力していきますの
で、今後ともよろしくお願
い致します。

ケアマネージャー
湊川知恵子

初めまして。今年二月よ
り「どりーまあ」でケアマ
ネージャーとして働くこと
になりました湊川
です。ケアマネー
ジャーとしての経
験は一年程しか
なく未熟者ですが、
皆様と接すること
によりいろいろ勉
強させていただきながら頑
張っていききたいと思いま

四月からは介護保険制度
も大きく改正されますの
で、私も気持ちを
切り替え、お一人
おひとりにあった
ケアプランがたて
られるよう努力し
ていききたいと思っ
ています。これか
らもうどうぞよろしくお願
い致します。

研修

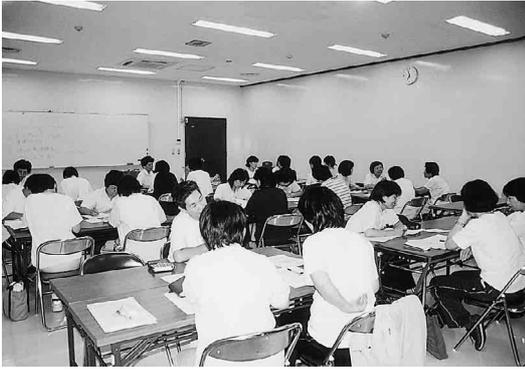
今回も所内で開いた研修の様様を紙面を通してご紹介させていただきます。
みんなガンバっています。

スキル編

チームミーティング ～コーチングの実践～

～17年9月15日～
(於：県立青少年センター)

昨年から取り組み始めた「コーチング」ですが、最近では県内でもあちらこちらでこの種のセミナーが開かれ始めてきました。取り組んでいくほどに本分野の



奥深さを感じます。相手のもつ潜在的叫びを「聴く」、そこから相手の気持ちを「引き出す」、相手の存在そのものを「承認する」等。十把ひとからげなやり方は身につきません。

技術編

「排泄ケアの実践論」

講師



ユーチャーム株式会社
ライフリーチーフケア
アドバイザー

下田 節代先生

～17年10月29日～
(於：県立青少年センター)

手法も一対一、一対四、五人、一対集団等、様々ですが、「どリーまあ」ではスタッフを五、六名のチームに分けてチームリーダーが他のメンバーに対してコーチングしていく方法を取り入れています。今後この取り組みを継続し続けることで一人でも自分の「気づき」が生みだせ力量あるヘルパーさんになってもらえるようサポートしてまいります。



人は誰しも下の世話は他人にはしてもらいたくないというのが正直な気持ちでしょう。しかし、やむを得ずお世話にならざるを得ない方のケアにあたるのが私たちの役目です。とても大切なケアであるわりには学習する機会の少ない「排泄」という分野に絞って、今一度考える場を設けました。

講演にはおむつの専門メーカーであるユニチャー

ムンケアアドバイザーの下田節代様をお招きし、排泄に関しての解剖学的理論に始まりおむつの種類についてや当て方の指導までといった内容で詳しく説明があり学習いたしました。



救急編

「救命救急法の実践」 ～AEDの実践トレーニング～

講師 日本赤十字社徳島県支部
板東 志昌先生
橋本 聡先生

～17年11月18日～
(於：県立総合福祉センター)



日々在宅の現場でケアにあたっている利用者さんが突然に急変することは当然として起こりうることです。そういった事も念頭にこの度は、全国的にも注目されている『AED』を用

いて除細動の実践トレーニングを研修いたしました。講師としては、日本赤十字社徳島県支部事業推進課長の板東志昌先生と同課主任の橋本聡先生をお招きして緊迫感ある実践さながらの講習を受けることができました。講義の中でも、厚生労働省の統計では年間約五



万人の方が心臓が突然けいれんをおこし死亡しているとの話があり、参加したスタッフも明日の現場を思い浮かべながら真剣に取り組むことができました。



スキル編

グループミーティング

～17年12月24日～

(於：どりーまあ事務所)

「どりーまあ」中で月一回開催している「どりーまあ」式グループミーティングがあります。全員が一同に会するというのが困難なだけに、月に一度だけ一日に三回に分けて一時間のミーティングする場をもちスタッフ間で顔を合わせしコミュニケーションづくりの機会をもっています。



スキル編

チームミーティング

～17年2月18日～

(於：徳島市立文化センター)

半年ぶりに開催したチームミーティングですが、始めに今回の介護保険制度改正についての説明を山口の方から大まかに説明し、その後それぞれチームに分かれフリートーク形式でそれぞれ普段の業務についての悩みや解決方法を八名のリーダーヘルパー中心に話しあいました。常日頃自分自身で抱えている課題を持ち合うことで互いに解決法を仲間と共に見出す場です。

「どリーまあ」ハッスル 指導員 紹介



昨年八月にこの事業を始めた頃はつまづきの連続でここまで到達するまでには決りませんでしたが、今ではスタッフから絶大の信頼を集めており、本事業の取りまとめ役として活躍するまでになりました。「ハッスル!ハッスル!」で持ち前の明るさで頑張りますよ。

吉田 公子

して順風満帆ではありませんでした

針をとなくなっていきますよ。」と言われます。今ではメニューをこなすだけでなく、参加者のために体の筋肉のしくみや体操の必要性について一緒に考えながら進めようというので、そのため、「毎日が勉強です。」と向学心旺盛の彼女です。これからも頼りにしてきますヨ!

橋本 博美

ようにしていていける



昨年、山口県から本県に嫁いできたばかりの中村さんです。『どリーまあ』でヘルパー養成講座の現場実習をされたのがきっかけで、この事業にかかわってもらっています。こいつタイプですので今は水を得た魚のように地域を東西奔走しております。これから

中村実千江

もい



沖洲地区



なぎさ会世話人

斎中 満子さん

地域の同世代の人たちは常々自分たちの健康づくりの事でよく話題になっていまして、今回はこの事業に「なぎさ」と「すくらむ学級」の二つの会が協力して

始めることになりました。教室が進んでいくうちに、口コミで新しい人たちが申し込まれていくようになります。やっぱり皆で全身の運動ができるし、一緒に笑いが合えたりするのが楽しいです。これからもぜひ続けていきたいですねえ。

徳島市元気高



南井上地区での教室の様子

沖洲地区 スク

と一緒に運動したりおしゃべり



沖洲地区受付の様子

からもヨロシクね!

講演

まちづくり講座

シニアパワーがまちを元気にする!!
～コミュニティビジネスで
地域づくりと生きがいを～

とき 十八年一月十四日
ところ とくしま県民活動プラザ



ここ二～三年の間にNPO組織の立ち上がるペースと地域での活躍は目覚ましい勢いで進んでおります。これまで地域でできなかった事やお座成りになっていた市民の思いが実現できる社会の気運にあることを証明しています。去る一月十四日にそういった熱い人たちの集まりがありました。その場で「どりーまあ」から山口が事例発表者として加わらせていただき、普段の思いを互いにおつけあい、自分たちの進むべく方向性を確認しあいました。

これからこのような場が多く提供され、ますますNPOの活動の幅が広がり、かつそれぞれの質が高まっていくような手を取り合っていきたいと思いました。

講演

J A助けあい組織推進連絡会

テーマ たすけあい組織のシステム構築
～どりーまあぐの実践例より～

とき 十八年三月六日(月)
ところ 徳島県JA会館

J A連のたすけあい組織活動は歴史的にはかなりな実績があり、いわばNPOの先駆者でもあります。県内でもそうした活動が地道に根付いており定期的に研修会も開かれているようです。この度、「どりーまあ」から山口が組織活動のあり方について講演に招かれました。会場は県内各地域のリーダーの方々が集まり、熱心に耳を傾けていました。

んから、「このような実践者の話しを聞ける場をもてたことで、今後のJ A活動の幅が広がっていくことを期待しています。」とJ Aの仲間たちに発信しておりました。



講演の最後に本セミナーを企画されたJ A徳島中央会の土肥部長さんから、「このような実践者の意見を聞けたことは今後の生きるための精神的な課題だと感じています。

最後に本セミナーを企画されていたJ A徳島中央会の土肥部長さ

去る十七年十一月八日に東京八重洲ホールで開かれた本セミナーに、山口が参加してまいりましたので、レポートいたします。本セミナーは医療界で現職看護師としてご

福祉で活用するコーチング紹介セミナー

とき 十七年十一月八日
ところ 東京八重洲ホール

講師 (助生涯学習開発財団認定コーチ
石丸佳依子先生
(看護師)

セミナー

その1

「なぜ、今、コーチングか？」



活躍されている傍ら、コーチングの資格をもち活動を続けておられる石丸佳依子先生からのご講義でした。石丸先生によりますと、日常生活の中でどこでもコーチングは実践できるそうです。コーチからの提案・要望・助言・情報・思考法などで、相手に別の視点を提供し行動を促していくスキルです。そのためにも、「押し付けないうい」、「その人のことを好きになる」ことが重

要なポイントのようです。具体的には「100%相手の味方になって聴く」、「その人の中に答えがあること」、「相手に「相手には資源がある」等を心がける事」を基本とします。

このように一見当たり前のようですが、日常忘れがちの中にコーチングのコツがありそうです。「どりーまあ」では昨年よりこのテーマに取り組み始めましたが、今後実践の回数を重ねながら身につけていく必要があります。

「十八年介護報酬改定」と「情報公表」への対応策セミナー

とき 十八年三月十二日
ところ 全国町村会館

講師 前北九州福祉サービス(株)ケアプランサービスセンター長
白木 裕子先生

セミナー

その2

居宅介護支援事業所への影響分析と新制度下のケアマネジメント及び「情報の公表」への対応策



見や経営者としての考え方など盛りだくさんに話されました。

内容的には、今後の居宅介護支援事業所への影響分析に始まり、新制度下でのケアマネジメントの新たな体制構築や求められるケアマネージャーの資質について、詳しく説明されました。また、地域の包括的・継続的ケアマネジメントの強化推進と新たな役割への対応等についても先生ご自身のお考えを語られておられました。

十八年度介護報酬改定に伴う経営収入への影響分析とこれからの効果的なマネジメントや「情報公表」への対応策として開かれた本セミナーですが、「どりーまあ」から山口が参加いたしました。その他の参加者としては、全国から

居宅事業所の管理者や在宅事業を行っておられる病院の先生等約五〇名余りがと狭しと会場に集まれ熱心に聴講されておられました。

講師である白木裕子先生も普段はご自身で「(株)フジケア」を昨年独立開業され、事業所全体で約一〇〇〇人のケアプラン担当の契約をかかわらせておられるバリバリの現役ケアマネです。それだけに単なる制度論だけにどまらず、現場からの意

「これから三年間をどう過ごすかによって真価が問われる。三年後に生き残っている事業所こそ本物であることは間違いない。みなさん頑張りましょう。」とのメッセージに大きな力を与えていただけたと実感しております。

「どりーまあ」では平成十年から徳島市内に住む高齢者で十人〜十五人のグループの人たちと、年三〜四回地元の集会所等を使って気軽に語り合う場のお手伝いをしてきました。名づけて「いきいきサロン」さくらだ」といいます。本事業が平成十五年に前社会福祉医療事業団様より助成金を受けた事があり、その一年間は資金的に大きな力を与えていただきました。

この度は「さらだ」についての調査ということではなく、助成団体としての「独立行政法人福祉医療機構」様に対しての今後の助成のあり方に関するヒアリング形式での意見交換会ということで、団体から委託を受

ヒアリング担当



三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング
岩本 恭明さん 山田美智子さん



(左から)林 淳年 (県社協) 山田美智子 (三菱 UFJ) 竹原千鶴子 (県社協) 岩本 恭明 (三菱 UFJ) 山口 浩志 (敬称略)

けられおられる三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社の大阪支店様より二名のご訪問がありました。また、連携団体として県社会福祉協議会地域福祉

課から二名の方も同席され話し合いがもたれました。はじめのうちは緊張した雰囲気でしたが、話しているうちに互いに打ち解けあい、意見も活発に出てまいりました。その中で、助成する上において大切な事と

して互いに検討しありました。意見としては、まず助成を受ける前段階での説明会や書類作成についてや、事業を企画する上においての相談の場などが設定されてもいいのではないか、といった意見ができました。また、助成を受けた後、事業が継続されていることが大事であるので、その後のフォローも地域でしていくべきではないか、という意見で一致し、互いにいい意味での刺激を与えあうことができましたように思います。そして、今後徳島県内で助成を受ける団体の為に「どりーまあ」としてできるだけのお手伝いをさせていただく事をお約束して閉会となりました。

独立行政法人福祉医療機構委託 「効果的な助成のあり方に関する調査研究」ヒアリング訪問

とき 平成18年2月7日 ところ どりーまあ会議室

連携団体



「社協とNPO」
徳島県社会福祉協議会

竹原千鶴子さん
林 淳年さん

徳島県社会福祉協議会では、平成九年度から独立行政法人福祉医療機構が行う助成事業にかかる推進審査等の事務を受託している。本助成事業は、地域における高齢・障害・子育て等の分野で先駆的モデル的な取り組みを行っている団体への支援を目的としている。これまでに本県では〇団体が助成を受け、様々な事業を実施してきているが、助成終了後の継続的な事業展開が充分行われていない。

どりーまあサービスでは、この点がとても上手に運営されており、例えば地域で生活困難を抱えている人に対し、介護保険制度や、有償ボランティア等を組み合わせるより効果的な福祉サービスを提供している。

この考え方や手法は、これまで社協がすすめてきた地域福祉への取り組みであったが、今日では、実践的な福祉NPOは、その理念に則り、積極的な事業展開を図っている。

今や地域福祉の推進は、社協だけでなく地域のNPOや様々な団体が連携し、複雑多様化したニーズに対応することが求められている。これからは社協は、NPOと地域福祉を進めるパートナーとして協働を行っていく必要がある。

担当金融マンからのメッセージ

徳島銀行 昭和町支店 松本 裕之

私は二月の定例異動で高松支店から昭和町支店に転勤となり、主に企業先を中心に営業活動を行っています。

高松は金融機関が多く、当行も県外の一金融機関に過ぎませんが、二年半振り帰郷し、地元での徳島銀行行員の役割・お客様の期待は非常に大きなものがあるのだということをおぼやかたに実感しています。

そんな中で、私もNPO法人であるどりーまあサービス様を担当させてもらっています。最初はNPO法人自体が一体どのような活動を行っているのか、十分理解できていなかったというのが正直なところですが、現在は、

事務所を訪問し、スタッフの皆さんや理事長と面談させて

いただき、私も徐々にNPO法人への理解を深めつつあります。

当行には「地域経済への貢献」という大きな役割がありますが、そのような意味ではNPO法人と相通じるものがあるのではないかと思っています。将来性を見込める企業に資金面で支援し、その企業が成長し、地域が発展するというのが、当行の果たすべき大切な役割であります。また私もその意識を常に持ち、営業活動を行っています。

私もどりーまあサービス様のように地域に役立つ存在となることができるよう、日々研鑽し、銀行員としての職責を果たしていきたいと思

います。

声

Voice

財団法人徳島経済研究所

主任研究員 大谷 博

LED TOKUSHIMA

LEDによる徳島活性化シンポジウム

4.6

2006 入場無料

会場：ホテルフロント徳島(〒760-0001)
時間：13:30～16:30
*会場にて、LED応用製品等の展示

徳島知事 飯泉 嘉門
特別講演 「発光ダイオード(LED)の技術革新」-LEDの応用と展開-
日本化学工業株式会社 取締役副社長 田崎 登
シンポジウム
司会 飯泉 嘉門 徳島知事
徳島市長 木内 昭介 徳島大学学長
徳島県副知事 中川 俊博 徳島県庁学芸文化部長
徳島県副知事 原 秀樹
徳島県副知事 清水 義則 徳島県立徳島大学学長

阿波銀行の全額寄附により昭和六十年三月二十日に設立された公益シンクタンクです。徳島県内の経済・産業動向、企業経営及び地域開発に関する調査研

究並びに総合的な情報収集を行い、経済活動全般に対する適切な情報提供と積極的な支援活動を通じて地域経済・産業の振興と健全な発展に寄与することを目的として活動しています。

当研究所が発行している主要な出版物には、調査研究レポート『徳島経済』（年二回程発行）をはじめ、県内の景気動向の調査結果を取りまとめた『徳島経済レポート』（毎月発行）、県内の主要企業約五百社を

対象に企業経済の動向をアンケート調査した『企業経営動向調査』（季刊）などがあり、そして県内の企業を対象に新卒採用計画や賃上げ・初任給の実態などについてアンケート調査しその結果を取りまとめた『経済トピックス』を随時発行しています。さらに、徳島県の実情と変化を自然環境や社会環境、経済・産業の構造やその特色、さらには県民の暮らしなども含めて、最新の各種統計データを織り込み取りまとめた『徳島県の経済と産業』を改訂版として毎年発行しています。

今年度は二十周年事業の一環として、徳島県にとって現代の藍ともいえる発光ダイオード(LED)をいろいろな分野で活用する『LEDによる徳島活性化シンポジウム』を知事や市長を招いて四月六日に開催する予定です。

活動報告

平成17年

- 10/3 JA 美馬ヘルパー養成講座講義 (於: 美馬 JA 会館)
- 10/4 地域リハビリ研究会セミナー (於: 徳島大学病院青藍会館)
県介護支援専門員協会業務委員会 (於: 論田病院)
- 10/7 三幸福社カレッジ現場実習オリエンテーション
(於: どりーまあ事務所)
- 10/14 阿波徳島ロータリークラブ例会卓話
～介護保険制度の今後の行方を検証～ (於: 阿波観光ホテル)
- 10/24 県労働福祉協議会ヘルパー養成講座講義
(於: 県労働福祉会館)
- 10/27 県社会福祉士会理事会 (於: 県立総合福祉センター)
- 10/28 法人会計ミーティング (於: どりーまあ事務所)
県介護労働安定センター難病ヘルパー養成講座講義
(於: 同センター内)
- 10/30 県社会福祉士会電話相談 (於: 同会事務所)
- 10/29 支援費担当ヘルパーミーティング (於: どりーまあ事務局)
- 11/1 徳島市南井上地区“元気高齢者づくり事業”打ち合わせ
(於: 南井上コミュニティーセンター)
- 11/4 ヘルパー担当者ミーティング (於: どりーまあ事務所)
- 11/5 ゆずヘルパー養成講座講義 (於: ゆず事務所)
- 11/7 ゆずヘルパー養成講座講義 (於: ゆず事務所)
- 11/8 コーチング手法実践セミナー (於: 東京八重洲ホール)
- 11/11 利用者担当者会議 (於: どりーまあ事務所)
- 11/18 職員研修会 (「救命救急法の実践 ～AEDの実践トレーニング～」 於: 県立総合福祉センター)
- 11/20 介護支援専門員専門研修 (於: 国保連会館)
- 11/21 県介護労働安定センターヘルパー養成講座講義
(於: 同センター内)
- 11/22 グループホーム評価調査員研修
(於: センチュリープラザホテル)
- 11/24 介護雇用管理セミナー (於: 阿波観光ホテル)
- 11/26 介護予防サポーター養成講座終了式参加
(於: ふれあい健康館)
- 11/29 福祉医療機構「地方分助成」審査委員会
(於: 県立総合福祉センター)
- 12/1 元気高齢者づくり事業担当スタッフミーティング
(於: どりーまあ事務所)
- 12/2 徳島市南井上地区元気高齢者づくり事業開講式
(於: 南井上コミュニティー C.)
徳島緩和ケア研究会 どりーまあ事例発表
(於: 徳島大学病院共通講義棟)
- 12/4 介護支援専門員専門研修 (於: 国保連会館)
- 12/5 グループホーム評価調査実施
- 12/6 法人理事会
- 12/7 権利擁護学習会 (於: 県立総合福祉センター)
- 12/9 地域リハビリ研究会セミナー (於: 徳島大学病院内ミンクス)
- 12/11 徳島神経難病自助ケア研究会セミナー
(於: 県立総合福祉センター)
- 12/18 介護支援専門員専門研修 (於: 国保連会館)
- 12/24 ヘルパーグループミーティング (於: どりーまあ事務所)

平成18年

- 1/7 ヘルパーグループミーティング (於: どりーまあ事務所)
- 1/10 渭北児童民生委員会例会参加
- 1/11 徳島市地域包括支援センター運営協議会 (於: 徳島市役所)

- 1/13 とくぎんサクセスクラブ新年セミナー (於: アステイ徳島)
- 1/14 シニアまちづくり講座講演 (於: 県民活動プラザ)
- 1/15 介護支援専門員講習
(「予防ケアマネジメントについて」 於: 県教育会館)
- 1/20 徳島緩和ケア研究会学習会 (於: 徳島大学病院共通講義棟)
- 1/24 徳島市沖洲地区元気高齢者づくり事業打ち合わせ
(於: 沖洲コミュニティ C.)
- 1/26 介護雇用セミナー (於: 徳島県 JA 会館)
- 1/28 ヘルパーリーダーミーティング (於: どりーまあ事務所)
- 1/29 県社会福祉士会相談活動委員会運営会議
(於: 県立総合福祉センター)
- 2/1 医療連携担当者ネットワークミーティング出席
(於: 県医師会館)
- 2/6 県介護支援専門員協会業務委員会 (於: 論田病院)
- 2/7 福祉医療機構委託業務調査研究ヒアリング
(於: どりーまあ事務所)
- 2/8 内町児童民生委員会例会参加 (於: 内町コミュニティ C.)
- 2/13 県同和対策推進会理事会 (於: ホテル千秋閣)
- 2/17 徳島緩和ケア研究会学習会 (於: 徳島大学病院共通講義棟)
- 2/19 徳島神経難病自助ケア研究会セミナー (於: ふれあい健康館)
- 2/21 NPO トップマネジメントセミナー参加
(全国市民互助型団体連絡協議会主催、於: 日本財団)
- 2/23 三幸福社カレッジ現場実習オリエンテーション
(於: どりーまあ事務所)
- 2/25 グループホーム評価調査実施
- 2/26 介護支援専門員専門研修 (於: 国保連会館)
- 2/27 県介護労働安定センターヘルパー養成講座講義
(於: 同センター内)
- 2/28 介護フォーラム
(日本医療企画主催、於: 大和ハウス大阪本社ビル)
- 3/1 どりーまあケアマネージャーミーティング
(於: どりーまあ事務所)
県労働福祉協議会ヘルパー養成講座講義 (於: 同協議会館)
- 3/2 元気高齢者づくり事業担当スタッフミーティング
(於: どりーまあ事務所)
- 3/3 徳島市元気高齢者づくり事業サポーター養成講座閉講式出席
(於: ふれあい健康館)
- 3/6 JA たすけあい組織推進連絡会議 講演「助け合い組織のシステムづくり構築について～どりーまあサービスの実践例より～」(徳島県 JA 会館)
- 3/10 徳島市地域包括支援センター運営協議会会議
(於: 徳島市役所)
- 3/11 ①介護保険緊急フォーラム参加 (於: 東京日本青年館)
②介護報酬改定と訪問介護対策セミナー参加
(於: 東京永田町 全国町村会館)
- 3/12 「介護報酬改定」と「情報公表」への対策セミナー参加
(於: 東京永田町 全国町村会館)
- 3/14 長期療養児保護者会参加 (於: 徳島保健所)
- 3/17 徳島市介護支援専門員講習会 (於: ホテル千秋閣)
- 3/25 県社会福祉士会相談活動委員会運営会議
(於: 県立総合福祉センター)
- 3/26 在宅療養支援診療所と訪問看護セミナー
(於: 東京永田町 全国町村会館)
- 3/30 認知症高齢者グループホーム評価調査員連絡会議
(於: センチュリープラザホテル)

親切・丁寧に対応いたします

原公認会計士事務所

〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜395番地
TEL (088)686-5181
FAX (088)686-5183



し願ろ顧とすれなし業務の活気
まいのも。てして、を、こ
す。いく程ご今いて、後
。たおよ愛

戦あるが日そもに女進方現務に初
苦、と、々、れ、過、か、た、ん、々、場、ス、登、め、
闘、に、に、だ、言、か、ち、で、へ、で、タ、場、て、ど、
し、に、に、だ、け、は、の、の、の、の、の、の、の、の、
な、が、に、に、に、に、に、に、に、に、に、に、に、に、
が、ら、も、す、る、く、お、り、内、で、は、。、
す、い、く、程、ご、今、いて、後、ま、く、

事務局より